

等差数列

()組・番号()氏名()NO1

1. 初項 a , 公差 d の等差数列の一般項 a_n は $a_n = a + (n - 1)d$
2. 初項から第 n 項までの和 S_n は $S_n = \frac{n}{2}(a + \ell) = \frac{n}{2}\{2a + (n - 1)d\}$ (a は初項, ℓ は末項)
3. 数列 a, b, c が等差数列 $\iff 2b = a + c$

1. 公差が -3 , 第 6 項が 5 である等差数列の初項を求めよ。また, 第 10 項を求めよ。

2. 第 10 項が 49, 第 23 項が 10 である等差数列 $\{a_n\}$ について次の問に答えよ。

(a) 初項 a と公差 d を求めよ。

(b) -83 はこの数列の第何項か。また, 第何項が初めて負になるか。

(c) 初項から第何項までの和が最大となるか。また, そのときの和を求めよ。

3. 初項 2, 末項 38, 項数 10 の等差数列の和を求めよ。

4. 初項 3, 公差 2 の等差数列の第 n 項までの和を求めよ。

5. $2, 5, 8, \dots, 101$ の和を求めよ。

6. 10 から 100 までの整数で 3 で割ると
2 余る数の和を求めよ。

等比数列

()組・番号()氏名()NO2

1. 初項 a , 公比 r の等比数列の一般項 a_n は $a_n = ar^{n-1}$

2. 初項から第 n 項までの和 S_n は

$$r \neq 1 \text{ のとき } S_n = \frac{a(r^n - 1)}{r - 1} = \frac{a(1 - r^n)}{1 - r} \quad (a \text{ は初項}, r \text{ は公比})$$

$$r = 1 \text{ のとき } S_n = na$$

3. 数列 a, b, c が等比数列 $\iff b^2 = ac$

1. 公比が 3, 第 5 項が 162 である
等比数列の初項 a を求めよ。

2. 等比数列 $2, -6, 18, -54, \dots$ の一般項 a_n を求めよ。
また, 第 7 項を求めよ。

3. 第 2 項が 6, 第 5 項が 48 である等比数列について次の問に答えよ。
(a) 初項 a と公比 r を求めよ。

(b) 一般項 a_n を求めよ。

4. 初項 9, 公比 -3 の等比数列の初項から
第 n 項までの和を求めよ。

5. 等比数列 $1, -3, 9, -27, \dots$ の初項から
第 n 項までの和を求めよ。

6. 第 2 項が 2, 初項から第 3 項までの和が 7 である等比数列の, 初項 a と公比 r を求めよ。

7. 初項が 2, 公比が $\frac{1}{2}$ である等比数列において, 初めて 1000 より大きくなるのは第何項か。

$$1. \sum_{k=1}^n k = \frac{1}{2}n(n+1)$$

$$2. \sum_{k=1}^n k^2 = \frac{1}{6}n(n+1)(2n+1)$$

$$3. \sum_{k=1}^n k^3 = \left\{ \frac{1}{2}n(n+1) \right\}^2$$

$$4. \sum_{k=1}^n 1 = n$$

1. 次の和を求めよ。

$$(1) \sum_{k=1}^n (4k+3)$$

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n (4k+3) &= 4 \sum_{k=1}^n k + \sum_{k=1}^n 3 \\ &= 4 \cdot \boxed{} + 3 \boxed{} \end{aligned}$$

$$(2) \sum_{k=1}^n (2k-3)$$

$$\sum_{k=1}^n (2k-3) =$$

$$(3) \sum_{k=1}^n (k^2+k)$$

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^n (k^2+k) &= \sum_{k=1}^n k^2 + \sum_{k=1}^n k \\ &= \boxed{} + \boxed{} \\ &= \boxed{} + \frac{\boxed{}}{\boxed{}}n(n+1) \\ &= \frac{1}{6}n(n+1) \left\{ () + \boxed{} \right\} \\ &= \frac{1}{6}n(n+1)(2n+4) = \frac{1}{\boxed{}}n(n+1) \boxed{} \end{aligned}$$

$$(4) \sum_{k=1}^n (k^2-3k+2)$$

$$\sum_{k=1}^n (k^2-3k+2) =$$

(5) 次の数列の和 S を求めよ。

$$(a) 1 \cdot 1 + 2 \cdot 3 + 3 \cdot 5 + \cdots + n(2n-1)$$

この数列の第 k 項 a_k は

$$a_k = \boxed{}$$

$$\sum_{k=1}^n (2k^2-k) = 2 \sum_{k=1}^n k^2 - \sum_{k=1}^n k$$

$$= 2 \cdot \boxed{} - \boxed{}$$

$$= 2 \cdot \frac{1}{6}n(n+1) () - \frac{\boxed{}}{6}n(n+1)$$

$$= \frac{1}{6}n(n+1) \{ 2() - \boxed{} \}$$

$$= \frac{1}{6}n(n+1) ()$$

$$(b) (1+1^3) + (2+2^3) + (3+3^3) + \cdots + (n+n^3)$$

【和の記号 \sum 】

()組・番号()氏名()NO4

1. 次の数列の第 k 項 a_k を求め、初項から第 n 項までの和を求めよ。

(1) $1 \cdot 3, 2 \cdot 5, 3 \cdot 7, 4 \cdot 9, \dots$

(2) $1^2 \cdot 2, 2^2 \cdot 3, 3^2 \cdot 4, 4^2 \cdot 5, \dots$

(3) $2, 2+4, 2+4+6, 2+4+6+8, \dots, 2+4+6+\dots+2n$

(4) $1, 1+4, 1+4+7, \dots, 1+4+7+\dots+(3n-2)$

分数数列の和

$$\frac{1}{n(n+1)} = \frac{1}{n} - \frac{1}{n+1}$$

$$\frac{1}{(2n-1)(2n+1)} = \frac{1}{2} \left(\frac{1}{2n-1} - \frac{1}{2n+1} \right)$$

2. 次の数列の和 S を求めよ。

(1) $\frac{1}{1 \cdot 2} + \frac{1}{2 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 4} + \dots + \frac{1}{n(n+1)}$

(2) $\frac{1}{1 \cdot 3} + \frac{1}{3 \cdot 5} + \frac{1}{5 \cdot 7} + \dots + \frac{1}{(2n-1)(2n+1)}$

階差数列と一般項

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると $b_n = a_{n+1} - a_n$

$$n \geq 2 \text{ のとき } a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$$

1. 次の数列の一般項 a_n を求めよ。

(a) 1, 4, 11, 22, 37, 56, ...

(b) 1, 3, 6, 10, 15, ...

この数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると、
 $\{b_n\}$ は 3, 7, , , , ...

となり、第 n 項 b_n は、 $b_n =$

したがって、 $n \geq 2$ のとき、

$$a_n = \text{} + \sum_{k=1}^{\text{>}} (\text{>})$$

$$= \text{} + 4 \cdot \frac{1}{2} n(n-1) - (n-1)$$

ゆえに、 $a_n =$

これは、 のときにも成り立つ。

よって、 $a_n =$... 答

(c) 10, 8, 4, -2, -10, ...

(d) 1, 2, 5, 14, 41, ...

数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると、

$$a_1 = S_1 \quad n \geq 2 \text{ のとき} \quad a_n = S_n - S_{n-1}$$

1. 初項から第 n 項までの和 S_n が次の式で表されるとき、数列の一般項 a_n を求めよ。

(a) $S_n = 2n^2 - n$

(b) $S_n = n^2 + 4n$

[解] のとき、

$$\begin{aligned} a_n &= S_{\square} - S_{\square} \\ &= (2n^2 - n) - \{2(\quad)^2 - (\quad)\} \\ &= (2n^2 - n) - (2n^2 - 5n + 3) \\ &= 4n - 3 \end{aligned}$$

のときは $a_1 = \square = \square$

よって、 のときも成り立つ。

したがって、一般項は $a_n = \square$

(c) $S_n = n^3 + 2n + 6$

(d) $S_n = n \cdot 2^n$

【漸化式練習 1】

() 組・番号 () 氏名 (

)NO1

1. 等差数列を表す漸化式

$$a_{n+1} = a_n + d \iff a_n = a_1 + (n-1)d$$

2. 等比数列を表す漸化式

$$a_{n+1} = ra_n \iff a_n = a_1 r^{n-1}$$

1. 次の条件によって定義される数列の一般項 a_n を求めよ。

(1) $a_1 = 2, a_{n+1} = a_n + 3$

初項 、公差 の等差数列だから

$$a_n = \text{$$

(2) $a_1 = 2, a_{n+1} = -3a_n$

初項 、公比 の等比数列だから

$$a_n = \text{$$

(3) $a_1 = 3, a_{n+1} = a_n + 5$

(4) $a_1 = 2, a_{n+1} - a_n = -3$

(5) $a_1 = 2, a_{n+1} = 3a_n$

(6) $a_1 = 1, a_{n+1} = -2a_n$

【階差形式の漸化式】

$$a_{n+1} - a_n = b_n \text{ (n の式)} \iff n \geq 2 \text{ のとき、} a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} b_k$$

(1) $a_1 = 2, a_{n+1} - a_n = 2n + 1$

数列 $\{a_n\}$ の階差数列を $\{b_n\}$ とすると、

$$b_n = a_{n+1} - a_n = 2n + 1 \text{ だから}$$

$n \geq 2$ のとき、

$$a_n = a_1 + \sum_{k=1}^{n-1} (\text{)}$$

$$= 2 + \text{} + (\text{)}$$

$$= \text{$$

これは、 のときも成り立つ。

答

(2) $a_1 = 1, a_{n+1} = a_n + 3n - 1$

【漸化式練習 2】

() 組・番号 () 氏名 (

)NO2

【隣接 2 項間の漸化式】

$$a_{n+1} = pa_n + q \quad (p \neq 1, q \neq 0) \quad \text{このとき、} a_n - c = p(a_{n-1} - c) = p^{n-1}(a_1 - c)$$

(1) $a_1 = 1, a_{n+1} = 3a_n + 2$

$$a_{\square} = 3a_{\square} + 2 \quad (n = 2, 3, 4, \dots)$$

$$c = 3c + 2 \therefore c = -1$$

両辺に \square を加えて

$$a_n + \square = 3(a_{n-1} + \square)$$

$$a_n + \square = 3 \square (a_{\square} + \square)$$

$$a_n + \square = \square \cdot 3 \square$$

$$a_n = \square \cdot 3 \square - \square$$

(2) $a_1 = 2, a_{n+1} = 4a_n - 3$

2. 次の条件によって定義される数列の一般項 a_n を求めよ。

(1) $a_1 = 2, a_{n+1} = a_n + 2$

(2) $a_1 = 2, a_{n+1} = 2a_n$

(3) $a_1 = 3, a_{n+1} = a_n + 2^{n-1}$

(4) $a_1 = 5, a_{n+1} = a_n + 2n^2 + n - 1$

(5) $a_1 = 5, a_{n+1} = 2a_n - 3$

(6) $a_1 = 1, 3a_{n+1} = a_n - 6$

【漸化式練習 3】

() 組・番号 () 氏名 (

)NO3

等差数列の応用型

$$(1) a_1 = 3, \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{1}{a_n} + 1$$

$$b_n = \boxed{} \text{ とおくと、 } b_1 = \frac{1}{a_1} = \boxed{}$$

$$b_{\boxed{}} = b_{\boxed{}} + 1$$

数列 $\{b_n\}$ は、初項 $\frac{1}{3}$ 、公差 1 の等差数列

$$b_n = \boxed{} = \frac{3n-2}{3}$$

$$a_n = \frac{1}{\boxed{}} = \boxed{}$$

$$(2) a_1 = 2, \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{1}{a_n} + 3$$

【隣接 2 項間の漸化式の応用型】

$$(1) a_1 = \frac{1}{2}, \frac{1}{a_{n+1}} = \frac{3}{a_n} + 2$$

$$b_n = \boxed{} \text{ とおくと、 } b_1 = \frac{1}{a_1} = \boxed{}$$

$$b_{\boxed{}} = 3b_{\boxed{}} + 1$$

$$c = 3c + 2 \quad \therefore c = -1$$

$$b_{\boxed{}}\boxed{}\boxed{} = 3(b_{\boxed{}}\boxed{}\boxed{}) \quad (n = 2, 3, 4, \dots)$$

$$= 3^{\boxed{}}(b_{\boxed{}}\boxed{}\boxed{})$$

$$= \boxed{} \cdot 3^{\boxed{}}$$

$$= \boxed{} \quad \therefore b_n = \boxed{}$$

$$a_n = \frac{1}{\boxed{}} = \boxed{}$$

$$(2) a_1 = \frac{1}{2}, a_{n+1} = \frac{a_n}{a_n + 2}$$

1. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^n 1 = \boxed{}$$

$$(2) \sum_{k=1}^n k = \boxed{}$$

$$(3) \sum_{k=1}^n k^2 = \boxed{}$$

$$(4) \sum_{k=1}^n k^3 = \boxed{}$$

2. 次の数列の一般項を求めよ。

(1) 初項 a 、公差 d の等差数列の一般項は、

$$\boxed{}$$

(2) 初項 a 、公比 r の等比数列の一般項は

$$\boxed{}$$

3. a, b, c のあいだに成り立つ関係式を求めよ。

(1) 数列 a, b, c が等差数列であるとき、

$$\boxed{}$$

(2) 数列 a, b, c が等比数列であるとき、

$$\boxed{}$$

4. 初項 a 、公差 d 、末項 l 、項数 n の等差数列の和を S_n とする。

$$(1) S_n = \boxed{}$$

$$(2) S_n = \boxed{}$$

5. 初項 a 、公比 r の等比数列の初項から第 n 項までの和 S_n は、

$$(1) r \neq 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{}$$

$$(2) r = 1 \text{ のとき、 } S_n = \boxed{}$$

6. 数列 $\{a_n\}$ の階差数列の第 n 項を b_n とすると、

$$\boxed{}$$

7. 次の公式を書け。

$$(1) \sum_{k=1}^{n-1} 1 = \boxed{}$$

$$(2) \sum_{k=1}^{n-1} k = \boxed{}$$

8. 数列 $\{a_n\}$ の初項から第 n 項までの和を S_n とすると、第 n 項 a_n は、

$$\boxed{}$$